



妙たえの光ひかり

臨時増刊

1996年5月

角田山妙光寺 発行
新潟県西蒲原郡
巻町角田浜 〒953
TEL 0256-77-2025

身延山 参拝旅行のご案内……………二頁

「フェスティバル安穩」のお知らせ……………四頁

「ご判さま」盛況に

今年から四月二十八日の一日に短縮した「ご判さま」が、日曜日の上にもいつもど通りの晴天に恵まれ、多くの参拝者で賑いました。これは五カ浜の遠藤家に伝わる日蓮聖人から授かった印を、妙光寺にお運びしてご開帳する伝統行事で、三百年は続いていると思われまます。

この日、色とりどりの桜が咲きはこる下を、楽人の雅楽を先頭に八人の稚児、二十人の僧侶、多くの信者とともに「ご判」を伸せた輿が山門から本堂まで練り歩きます。奉迎大法要には本堂一杯の信者で埋まり、お説教、お開帳、施餓鬼法要と午後三時まで続きました。

早朝より新潟市松浜からの大型観光バス二台をはじめ県内各地、山形県からの参拝者もあり、一時は受付、台所がてんこまいます程。当番でお手伝い戴いた山本地区、応援の角田地区の檀家の方々にはご苦労様でした。

——平成8年度 身延山久遠寺、七面山登詣

日蓮聖人が晩年の九ヵ年を過ごされ、お墓もある総本山身延山久遠寺、そして七面大明神を祀り、富士山からのご来光で名高い七面山登詣の、団体参拝旅行を下記の要項で行います。他に鎌倉の寺院参拝、箱根温泉小湧園一泊、全行程二階建てデラックスバス使用です。檀家、安穩会員に限りません。お誘い合わせご参加下さい。

- 主 催 角田山 妙光寺(電話 0256-77-2025)
- 旅行取扱 J T B交通公社新潟支店
- 期 日 10月14日(月)～17日(木) 3泊4日
- 募集人員 42名
(定員になりしだい締切りますので、早めにお申し込み下さい)
- 費 用 75,000円
(寺院での参拝費用一切を含みます)
- 申し込み
 - 申込書に申込金1万円を添えて各地区の世話人か、直接妙光寺へ。残金は10月5日までに納入下さい。
 - 既に口頭で申し込んであるという方も名簿には入っておりますが、改めて申込書を出して下さい。
 - 東京等県外にお住まいで参加を希望される方は予めご相談下さい。
 - お申し込み後事情で取り消しされた方には、それまでにかかった経費をご負担いただきます。

今年フェスティバル安穩は

新藤兼人氏（映画監督）を囲んで

早いもので第七回になる「フェスティバル安穩」ですが、今年はその映画監督、新藤兼人氏がおいで下さる事に決定しました。

新藤監督は八十四歳の今なお現役で、昨年高齢者問題を描いた『午後の遺言状』が大ヒット、数々の賞に輝きました。作品の内容と同時に、出演女優の故音羽信子さんの夫として、音羽さんの癌の進行と闘いながらの映画作りだったことも話題になりました。

作秋、住職がある会で新藤監督のお話をお聞きする機会に恵まれたことがきっかけです。そのご縁で監督の事務所「近代映画協会」のスタッフの方が、妙光寺の話を書きたいと先頃おいでになったので、この件をお願いしました。その結果、講演、執筆、次回作品の準備等大変ご多忙の中、

スケジュールを調整しておいで下さる旨ご返事いただいた次第です。

昨年の第六回「フェスティバル安穩」は参加者があまりに多すぎたことで、不都合な点もありました。そこで今年はずつかくの講師ではありませんが、対外的な告知は控え目にして、安穩会員と檀家主体のじっくり話せる集まりにしたいと考えています。もちろん参加者に制限を加えるつもりはありません。ぜひお友達等お誘い合わせお出かけ下さい。詳しい内容については現在打ち合わせ中で、次号で（七月始め）ご案内します。まだ一度も参加されたことのない方、何回目かの方、八月二十四、五日、暑さも和らぎますので、心配なくご計画下さい。